(様式第10)

関病発第 20903 号
令和 2 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 関西医科大学
理事長 山下 敏夫
(印)

関西医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒573-1010 大阪府枚方市新町2丁目5番1号
氏 名	学校法人 関西医科大学 理事長 山下 敏夫

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

関西医科大学附属病院

3 所在の場所

〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目3番1号	電話(072) 804-0101
---------------------------	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	☒ 有 ・ ☐ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
① 呼吸器内科 ② 消化器内科 ③ 循環器内科 ④ 腎臓内科	
5 神経内科 ⑥ 血液内科 ⑦ 内分泌内科 ⑧ 代謝内科	
⑨ 感染症内科 10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科 ⑪ リウマチ科	
診療実績	
・アレルギー疾患内科またはアレルギー科の内容は呼吸器内科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科で診療している。	
・神経内科の診療内容は脳神経内科にて提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	☒ 有 ・ ☐ 無
外科と組み合わせた診療科名	
① 呼吸器外科 ② 消化器外科 ③ 乳腺外科 4 心臓外科 ⑤ 血管外科 ⑥ 心臓血管外科 7 内分泌外科 ⑧ 小児外科	
診療実績 内分泌外科の内容は、耳鼻咽喉科、泌尿器科で診療している。	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

① 精神科 ② 小児科 ③ 整形外科 ④ 脳神経外科 ⑤ 皮膚科 ⑥ 泌尿器科 ⑦ 産婦人科 8 産科 9 婦人科 ⑩ 眼科 ⑪ 耳鼻咽喉科 ⑫ 放射線科 13 放射線診断科 14 放射線治療科 ⑬ 麻酔科 ⑭ 救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	☒ 有 ・ ☐ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1 小児歯科 2 矯正歯科 ③ 口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 血液・腫瘍内科 2 肝臓内科 3 心療内科 4 糖尿病内科 5 肝臓外科 6 胆のう外科 7 膵臓外科 8 頭頸部外科 9 形成外科 10 リハビリテーション科 11 病理診断科 12 臨床検査科 13 脳神経内科 14 15 16 17 18 19 20

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
0床	0床	0床	0床	751床	751床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	375 人	144 人	406.4 人	看護補助者	57 人	診療エックス線技師	人
歯科医師	5 人	人	5.0 人	理学療法士	27 人	臨床検査技師	75 人
薬 剤 師	61 人	5 人	62.1 人	作業療法士	8 人	検査衛生検査技師	人
保 健 師	人	人	人	視能訓練士	10 人	その他	人
助 産 師	51 人	1 人	51.7 人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看 護 師	834 人	39 人	859.8 人	臨床工学士	21 人	医療社会事業従事者	10 人
准看護師	人	人	人	栄 養 士	人	その他の技術員	26 人
歯科衛生士	11 人	人	11.0 人	歯科技工士	人	事 務 職 員	166 人
管理栄養士	6 人	6 人	7.5 人	診療放射線技師	44 人	その他の職員	人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	21 人	眼 科 専 門 医	13 人
外 科 専 門 医	39 人	耳鼻咽喉科専門医	13 人
精 神 科 専 門 医	2 人	放射線科専門医	22 人
小 児 科 専 門 医	18 人	脳神経外科専門医	7 人
皮 膚 科 専 門 医	5 人	整形外科専門医	15 人
泌尿器科専門医	11 人	麻 酔 科 専 門 医	18 人
産 婦 人 科 専 門 医	10 人	救 急 科 専 門 医	10 人
		合 計	204 人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (澤田 敏) 任命年月日 平成25年4月1日

<p>・医療安全管理対策委員会委員長 期間：平成25年4月1日から平成29年8月31日まで</p>

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	679.0人	1.0人	680.0人
1日当たり平均外来患者数	2,019.0人	49.0人	2,068.0人
1日当たり平均調剤数	960.3剤		
必要医師数	186.0人		
必要歯科医師数	4.0人		
必要薬剤師数	23.0人		
必要(准)看護師数	409.0人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	891.70 m ²	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)耐火建物	病床数	53床	心電計	☒ 有・ ☐ 無
			人工呼吸装置	☒ 有・ ☐ 無	心細動除去装置	☒ 有・ ☐ 無
			その他の救急蘇生装置	☒ 有・ ☐ 無	ペースメーカー	☒ 有・ ☐ 無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積	151.50 m ²	病床数	14床		
	[移動式の場合] 台数	台	病床数	床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積	53.00 m ²				
	[共用室の場合] 共用する室名	病棟業務課				
化学検査室	405.30 m ²	〃	(主な設備)	AUX5800, XE-2100, アーキテクト, アテリカ, CS-5100		
細菌検査室	112.90 m ²	〃	(主な設備)	安全キャビネット, バクテアアト3D, BDフェニックス		
病理検査室	299.90 m ²	〃	(主な設備)	カセット印字機, スライド印字機, パラフィン液透機, 免疫染色機		
病理解剖室	118.90 m ²	〃	(主な設備)	パラフィン液透機, 包埋センター, ドラフトチャンバー		
研究室	8,193.84 m ²	〃	(主な設備)	顕微鏡, 冷却遠心機, CO2インキュベーター		
講義室	363.40 m ²	〃	室数	2室	収容定員	210人
図書室	1,135.16 m ²	〃	室数	1室	蔵書数	52,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.3%	逆紹介率	60.0%
算出根拠	A：紹介患者の数	21,710人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	17,074人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,683人	
	D：初診の患者の数	28,440人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤本 良知	枚方市医師会 名誉会長	○	地域医療に関する学識経験者	☐ 有 ・ ☒ 無	1
森田 眞照	市立ひらかた病院 顧問		病院機能に関する学識経験者	☐ 有 ・ ☒ 無	1
永井 仁美	富田林保健所 所長		公衆衛生に関する学識経験者	☐ 有 ・ ☒ 無	1
吉野 敬昌	枚方信用金庫 理事長		医療を受ける側の代表者	☐ 有 ・ ☒ 無	2
谷川 昇	関西医科大学医学部 放射線科学講座教授		医療に関する学識経験者	☒ 有 ・ ☐ 無	1
蔦 幸治	関西医科大学 臨床病理学講座教授		臨床病理に関する学識経験者	☒ 有 ・ ☐ 無	1
				☐ 有 ・ ☐ 無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	☒ 有 ・ ☐ 無
委員の選定理由の公表の有無	☒ 有 ・ ☐ 無
公表の方法	
本学ホームページにて公表	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 本手術は、2017年7月11日 先進医療Aに告知された術式であり、現在早期子宮体がんに対して保険診療として行っている腹腔鏡下子宮体がん根治術に腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術を追加するものである。この傍大動脈リンパ節郭清術は、現在保険診療として開腹術で行っている傍大動脈リンパ節郭清と同様の方法を腹腔鏡下で行うものである。具体的には、カメラを下腹部正中から上腹部の方向に向け、後腹膜を切開し、腹膜を腹壁側に吊り上げ又は排圧し空間を確保し、腹大動脈より下腸間膜動脈・腎動脈を確認した上で、腎動脈以下の傍大動脈リンパ節郭清術を行う。			
医療技術名	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 根治的子宮癌手術は、比較的早期の子宮癌に対する最も一般的な治療法であるが、手術的には他の開放手術に比べて出血量が多く、また侵襲性の高い術式であった。1990年頃に腹腔鏡下手術の当該術式への適応が模索され、開腹手術に比し出血量が少ないこと、術後疼痛が軽微であることが多くの利点が提唱されてきたが、2次元視野での難易度の高い術式あることは否めない。手術支援ロボットであるda vinciは三次元視野下での手術操作を可能とするとともに手術野に挿入された鉗子の先端部が広い自由度を保持した関節機能を有する事により小骨盤腔という極めて狭小な手術野での鉗子先端部の自由な可動域を得ることにより、従来は難しいされた鉗子操作を容易に行えることが可能となり、気腹圧による静脈出血の制御という腹腔鏡下手術の利点と手術操作の可動域の拡大を兼ね備えた画期的手術手技となり得ることが明らかになってきた。加えるに10倍の拡大視野下での手術操作により、神経、血管等の確認を容易とし、確実な尿管の剥離、より確実な子宮動脈の剥離結紮を可能にするなど従来の開腹手術では期待できなかった多くの利点がある手術である。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	10	56	ベーチェット病	95
2	筋萎縮性側索硬化症	23	57	特発性拡張型心筋症	56
3	脊髄性筋萎縮症	4	58	肥大型心筋症	44
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	32	60	再生不良性貧血	47
6	パーキンソン病	383	61	自己免疫性溶血性貧血	15
7	大脳皮質基底核変性症	10	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	292
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	7	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	159	66	IgA腎症	108
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	49
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	45	68	黄色靱帯骨化症	51
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	38	69	後縦靱帯骨化症	181
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	77
17	多系統萎縮症	30	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	74	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	4	75	クッシング病	1
21	ミトコンドリア病	5	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	43	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	0
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	7
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	35	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	4	83	アジソン病	4
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	194
30	遠位型ミオパチー	3	85	特発性間質性肺炎	18
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	6
32	自己食空胞性ミオパチー	2	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	5
34	神経線維腫症	50	89	リンパ脈管筋腫症	3
35	天疱瘡	28	90	網膜色素変性症	105
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	5	93	原発性胆汁性肝硬変	133
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	0
40	高安動脈炎	5	95	自己免疫性肝炎	108
41	巨細胞性動脈炎	9	96	クローン病	131
42	結節性多発動脈炎	17	97	潰瘍性大腸炎	269
43	顕微鏡的多発血管炎	28	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	11	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	27	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	1
46	悪性関節リウマチ	10	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	10	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	275	104	コストロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	142	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	107	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	47	107	全身型若年性特発性関節炎	5
53	シェーグレン症候群	252	108	TNF受容体関連周期性症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

54	成人スチル病	19	109	非典型溶血性尿毒症症候群	2
55	再発性多発軟骨炎	9	110	ブラウ症候群	1
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	5	161	家族性良性慢性天疱瘡	2
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	2
113	筋ジストロフィー	13	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	14	167	マルファン症候群	7
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	3
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	1
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	1
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	2	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	1
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	1
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	9	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	5
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	5
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	2	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	6	208	修正大血管転位症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	2
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	15
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	2	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	システロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイトロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	31	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	6	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	1
218	アルポート症候群	4	266	家族性地中海熱	4
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	7	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	5
222	一次性ネフローゼ症候群	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	7	271	強直性脊椎炎	20
224	紫斑病性腎炎	19	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	4	274	骨形成不全症	4
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	5	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	2	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	4
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	24
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	3
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	8
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	39
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	24
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	2
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	145
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	1	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャスルマン病	0
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	入退院支援加算
歯科外来診療環境体制加算2	認知症ケア加算
特定機能病院入院基本料	精神疾患診療体制加算
救急医療管理加算	排尿自立支援加算
超急性期脳卒中加算	地域医療体制確保加算
診療録管理体制加算1	救命救急入院料1
医師事務作業補助体制加算1	救命救急入院料4
急性期看護補助体制加算	特定集中治療室管理料2
看護職員夜間配置加算	総合周産期特定集中治療室管理料
療養環境加算	新生児治療回復室入院医療管理料
重症者等療養環境特別加算	小児入院医療管理料1
無菌治療室管理加算1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
無菌治療室管理加算2	
緩和ケア診療加算	
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算1	
感染防止対策加算1	
患者サポート体制充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊娠管理加算	
ハイリスク分娩管理加算	
呼吸ケアチーム加算	
後発医薬品使用体制加算1	
病棟薬剤業務実施加算1	
病棟薬剤業務実施加算2	
データ提出加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
糖尿病合併症管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
がん性疼痛緩和指導管理料	遺伝学的検査
がん患者指導管理料イ	骨髄微小残存病変量測定
がん患者指導管理料ロ	BRCA1/2遺伝子検査
がん患者指導管理料ニ	がんゲノムプロファイリング検査
外来緩和ケア管理料	先天性代謝異常症検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
糖尿病透析予防指導管理料	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
小児運動器疾患指導管理料	検体検査管理加算(Ⅰ)
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	検体検査管理加算(Ⅳ)
婦人科特定疾患治療管理料	国際標準検査管理加算
腎代替療法指導管理料	遺伝カウンセリング加算
外来放射線照射診療料	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ニコチン依存症管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
がん治療連携計画策定料	胎児心エコー法
外来排尿自立指導料	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
肝炎インターフェロン治療計画料	ヘッドアップティルト試験
薬剤管理指導料	長期継続頭蓋内脳波検査
地域連携診療計画加算	脳波検査判断料1
医療機器安全管理料1	神経学的検査
医療機器安全管理料2	補聴器適合検査
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	ロービジョン検査判断料
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算	コンタクトレンズ検査料1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
内服・点滴誘発試験	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
CT透視下気管支鏡検査加算	硬膜外自家血注入
画像診断管理加算3	エタノールの局所注入(甲状腺)
ポジトロン断層撮影	エタノールの局所注入(副甲状腺)
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	人工腎臓
CT撮影及びMRI撮影	導入期加算1
冠動脈CT撮影加算	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
外傷全身CT加算	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
心臓MRI撮影加算	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
乳房MRI撮影加算	手術用顕微鏡加算
頭部MRI撮影加算	CAD/CAM冠
全身MRI撮影加算	センチネルリンパ節加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	皮膚移植術(死体)
外来化学療法加算1	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
無菌製剤処理料	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))
心大血管疾患リハビリテーション料(I)	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
運動器リハビリテーション料(I)	椎間板内酵素注入療法
呼吸器リハビリテーション料(I)	脳腫瘍覚醒下マッピング加算
がん患者リハビリテーション料	原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
歯科口腔リハビリテーション料2	頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
認知療法・認知行動療法1	脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	羊膜移植術
レーザー機器加算	緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
網膜再建術	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
人工中耳植込術	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	体外衝撃波胆石破砕術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	腹腔鏡下肝切除術
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	生体部分肝移植術
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	体外衝撃波膵石破砕術
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
長造瘻合併(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
胸腔鏡下弁形成術	同種死体腎移植術
経カテーテル大動脈弁置換術	生体腎移植術
胸腔鏡下弁置換術	膀胱水圧拡張術
経皮的中隔心筋焼灼術	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	人工尿道括約筋植込・置換術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	腹腔鏡下仙骨腫固定術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
経皮的下肢動脈形成術	胎児胸腔・羊水腔シャント術
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	悪性腫瘍病理組織標本加算
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	クラウン・ブリッジ維持管理料
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	
輸血管理料 I	
輸血適正使用加算	
自己生体組織接着剤作成術	
同種クリオプレシピテート作製術	
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
歯根端切除手術の注3	
麻酔管理料(I)	
麻酔管理料(II)	
放射線治療専任加算	
外来放射線治療加算	
高エネルギー放射線治療	
1回線量増加加算	
強度変調放射線治療(IMRT)	
画像誘導放射線治療(IGRT)	
体外照射呼吸性移動対策加算	
定位放射線治療	
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
画像誘導密封小線源治療加算	
保険医療機関間の連携による病理診断	
病理診断管理加算2	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心疾患におけるnon-canonical Wntシグナルの病態生理学的意義の解明	塩島一朗	内科学第二講座	5,070,000	補委 文部科学省・日本学術振興会 科研費
「光のメス」放射線で治す最先端がん治療	中村聡明	放射線科学講座	470,000	補委 文部科学省・日本学術振興会 科研費
浸潤性膀胱癌における新規治療ターゲットとしての一次繊毛	吉田崇	腎泌尿器外科学講座	2,080,000	補委 日本学術振興会 科研費
核膜構造・機能からみるヒト遺伝性疾患の解明	塚口裕康	内科学第二講座	1,690,000	補委 日本学術振興会 科研費
胸腺癌特異マーカーPRAMEの生物学的意義の解明と新規治療戦略への展開	谷口洋平	呼吸器外科学講座	1,950,000	補委 日本学術振興会 科研費
肺癌 invasive frontの空間的病理解析による浸潤/免疫抑制機構の解明	齊藤朋人	呼吸器外科学講座	1,170,000	補委 日本学術振興会 科研費
敗血症病態時の好中球細胞外トラップ産生能とmicroRNAによる制御の解明	中嶋康文	麻酔科学講座	2,080,000	補委 日本学術振興会 科研費
麻酔中の脳波による鎮痛モニタリング法の開発	萩平哲	麻酔科学講座	1,560,000	補委 日本学術振興会 科研費
敗血症における赤血球表面上の補体沈着と侵襲度の評価	室谷卓	救急医学講座	1,560,000	補委 日本学術振興会 科研費
腸管循環系からみた敗血症ショックの新しい循環管理法の開発に関する研究	鉾方安行	救急医学講座	1,820,000	補委 日本学術振興会 科研費
内向き整流Kチャネルを基軸としたグリオーマ浸潤メカニズムの解明	吉村晋一	脳神経外科学講座	2,600,000	補委 日本学術振興会 科研費
降下性縦隔炎の治療法構築と地域包括医療計画への提言:医療ビッグデータを用いた解析	日高浩史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,820,000	補委 日本学術振興会 科研費

小計
12件

機能性食品(AHCC)による膀胱癌治療成績改善を検証する 二重盲検無作為化比較試験	里井壯平	外科学講座	2,990,000	補委	日本学術振興会 科研費
ナノバブル生成器の開発:バブル投与下超音波照射によるソノポレーション効果での検証	狩谷秀治	放射線科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
転写因子HAND2による着床制御機構の解明	岡田英孝	産科学・婦人科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
炎症性腸疾患モデルマウスにおけるmicroRNAの制御機構	安藤祐吾	内科学第三講座	780,000	補委	日本学術振興会 科研費
がん患者の不眠障害に対する在宅心身モニタリングの検討	蓮尾英明	心療内科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費
食後高血糖・食後高中性脂肪血症が骨髄幹細胞・血管内皮前駆細胞に与える影響	岩崎真佳	内科学第二講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
インドシアニングリーン・ラクトソームを用いた胆嚢癌に対する新規治療法の研究開発	海堀昌樹	外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
グリオーマがん幹細胞におけるOX40シグナルの機能解析	浅井昭雄	脳神経外科学講座	520,000	補委	日本学術振興会 科研費
網膜静脈閉塞症の病的/生理的血管新生発主要因をOCTアンギオグラフィーで検討する	高橋寛二	眼科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
多血小板血漿による創傷治癒過程における脂肪誘導の検討	楠本健司	形成外科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
光環境サイクルという視点からの、新たな心身症治療法の可能性	福永幹彦	心療内科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費
サイトカイン遺伝子の一塩基多型解析とEVを用いた難治性ITPの早期診断法の開発	野村昌作	内科学第一講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
好酸球ペルオキシダーゼ抗体の存在から難治性好酸球性気道炎症の新たな治療戦略を探る	小林良樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費

小計
13件

腸管免疫に影響を与える腸内細菌叢に着目した微小変化型ネフローゼ症候群の病因解明	辻章志	小児科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
セマフォリン4Aが移植後免疫応答に及ぼす影響の解明と新規急性GVHD制御法の開発	佐竹敦志	内科学第一講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
網羅的遺伝子解析による大動脈疾患へのプレジジョンメディスンの創出	岡田隆之	心臓血管外科学 講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
敗血症病態における血小板数減少と細胞死のmicroRNA網羅的解析による機序解明	竹下淳	麻酔科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
血小板と白血球の相互作用による敗血症増悪病態におけるmicroRNAの役割の解明	影山京子	麻酔科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
Augmented realityを利用した追体験型内視鏡手術教育システムの開発	松田公志	腎泌尿器外科学 講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
好酸球性気道炎症における選択的アセチルコリン受容体の機序解明と新しい治療薬の開発	神田晃	臨床病理学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
Tリンパ球分画接種による老人性難聴の予防法および予防機序の解明	岩井大	耳鼻咽喉科・頭 頸部外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科研費
薬剤関連顎骨壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	兒島由佳	耳鼻咽喉科・頭 頸部外科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
医療面接における共感場面の社会的・生理的特徴からの客観的解明	阿部哲也	心療内科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
治療最適化を目指した潰瘍性大腸炎患者の腸内細菌・口腔内細菌叢の解析	長沼誠	内科学第三講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科研費
淡明細胞型腎細胞癌の個別化医療を目的としたバイオマーカーの同定	大杉治之	腎泌尿器外科学 講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
大量ナノバブル存在下で増強したキャビテーションによる経皮吸収促進の評価	上野裕	放射線科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費

小計
13件

大腸癌細胞外小胞がもたらす生体内での腫瘍免疫変化の解析	富山尚	内科学第三講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科研費
光干渉断層画像による新生内膜内動脈硬化巣に対する画像診断法の構築と発生機序の解明	澁谷裕樹	内科学第二講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科研費
病変局所へ浸潤する好塩基球に注目した特発性蕁麻疹の病態検討	岸本泉	皮膚科学講座	2,730,000	補委	日本学術振興会 科研費
超小型シーケンサーを用いた外科周術期管理におけるオンサイト迅速細菌同定法の確立	小林壽範	外科学講座	2,990,000	補委	日本学術振興会 科研費
敗血症時の免疫抑制病態と骨髄由来抑制細胞由来microRNAによる制御機構の役割	大平早也佳	麻酔科学講座	2,730,000	補委	日本学術振興会 科研費
次世代シーケンサーと遺伝子解析装置によるバイオフィルム内細菌・薬剤耐性菌検出法	植田成実	整形外科科学講座	2,730,000	補委	日本学術振興会 科研費
甲状腺癌に対するAt-211を用いた標的RI治療と分子標的薬の併用療法の確立	福井研太	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
鼻腔産生一酸化窒素から睡眠時無呼吸症の病態を探る	河内理咲	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
好酸球性副鼻腔炎の克服を目指した新規融合タンパク質の鼻腔組織への有効性	清水皆貴	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
網膜静脈閉塞症における側副血行路形成予測方法の開発	大庭慎平	眼科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
ヒトiPS細胞を用いた唾液腺組織の再構築と移植による唾液腺機能回復	澤田俊輔	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
薬剤関連顎壊死の発症原因解明と発症予防法確立に向けた多施設共同前向き研究	切東真子	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科研費
カテーテルにコーティングされたPMEAのバイオフィルム形成抑制効果の証明	小野泰之	放射線科学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科研費

小計
13件

PDL1発現制御に着目した膀胱癌新規治療標的の探索	齊藤亮一	腎泌尿器外科学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科研費
腸内細菌叢に注目した膀胱尿管逆流症例に対する再発性尿路感染症の新規予防法の確立	木全貴久	小児科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
SCIM SR の日本語版の作成と妥当性の検討	竹内翔	リハビリテーション 医学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費
高悪性度腎細胞癌の治療薬シーズの探索	大江知里	臨床病理学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
強力に複数の炎症性サイトカインを抑制する新薬・DHMEQのSLEに対する治療開発	山内壮作	小児科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科研費
非アルコール性脂肪性肝炎の線維化進行と肝発癌を予測する新規バイオマーカーの開発	山口隆志	内科学第三講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
自己免疫性膵炎の発症病態や制御機構に関わるIL-35の働き	田中敏宏	内科学第三講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科研費
レナリドミドの移植片対宿主病に及ぼす影響の解明—制御性T細胞を中心として—	吉村英晃	内科学第一講座	910,000	補委	日本学術振興会 科研費
閉塞性動脈硬化症の重症化早期発見におけるPerfusion Indexの意義	山本暢子	心臓血管外科学 講座	390,000	補委	日本学術振興会 科研費
敗血症病態におけるセルフフリーDNAの制御とマイクロRNAを用いた遺伝子治療の応用	添田岳宏	麻酔科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
難治性敗血症に対するセンスオリゴヌクレオチドを用いた新規核酸薬の開発研究	中竹利知	外科学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科研費
脳転移開始細胞を用いた脳転移の機序解明	岩田亮一	脳神経外科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科研費
Ovol2/MOVOが精子形成過程において果たす機能とその役割の解明	谷口久哲	腎泌尿器外科学 講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科研費

小計
13件

円錐切除術時に発生するsurgical smokeに含まれるHPVに関する研究	久松洋司	産科学・婦人科学講座	390,000	補委	日本学術振興会 科研費
活性化組織好酸球に発現するCD69の機能的役割の解明	尹泰貴	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
弾性線維欠損マウス及び網膜光凝固術を用いたポリープ状脈絡膜血管症モデルの作成	盛秀嗣	眼科学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科研費
難治性乳糜漏に対する胸管-下大静脈バイパス術の基礎的研究	丸山拓士	放射線科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科研費
難治性敗血症や虚血再灌流障害に対する新規核酸医薬を用いた応用研究	中竹利知	外科学講座	13,650,000	補委	日本学術振興会 科研費
PDL1発現制御に着目した膀胱癌新規治療標的の探索	齊藤亮一	腎泌尿器外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科研費
SCIM SR の日本語版の作成と妥当性の検討	竹内翔	リハビリテーション医学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科研費
地域を網羅した大規模救急患者レジストリ分析による救急医療改善の新たな試み	鉾方安行	救急医学講座	780,000	補委	文部科学省・日本学術振興会 科研費
減量外科治療における効果不良因子の検討-多施設共同調査研究	井上健太郎	外科学講座	149,500	補委	文部科学省・日本学術振興会 科研費
病態解明および創薬を目標とした小児先天性心疾患患者の赤血球中microRNA解析	中嶋康文	麻酔科学講座	13,000	補委	文部科学省・日本学術振興会 科研費
2型糖尿病易感染性病態の解明と治療に向けた白血球遺伝子及びcfDNAの網羅的解析	中嶋康文	麻酔科学講座	13,000	補委	文部科学省・日本学術振興会 科研費
正規化・データベース化した病理DICOMの探索による術中患部移動変形計算について	埜中正博	脳神経外科講座	260,000	補委	文部科学省・日本学術振興会 科研費
放射線性多発う蝕の発生秩序の解明と予防法に関する他施設共同ランダム化比較試験	兒島由佳	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	65,000	補委	文部科学省・日本学術振興会 科研費
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	岡崎 和一	内科学第三講座	500,000	補委	厚生労働省

小計
14件

自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	神戸 直智	皮膚科学講座	500,000	補委	厚生労働省
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査	高橋 寛二	眼科学講座	400,000	補委	厚生労働省
小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	濱田 吉則	外科学講座	150,000	補委	厚生労働省
神経変性疾患領域における基盤的調査研究	埜中 正博	脳神経外科学講座	400,000	補委	厚生労働省
高齢者のがん医療の質の向上に資する簡便で効果的な意思決定支援プログラムの開発に関する研究	海堀 昌樹	外科学講座	500,000	補委	厚生労働省
高齢者がん診療指針策定に必要な基盤整備に関する研究	海堀 昌樹	外科学講座	-	補委	厚生労働省
向精神薬の適切な継続・減量・中止等の精神科薬物療法の出口戦略の実践に資する研究	加藤 正樹	精神神経講座	800,000	補委	厚生労働省
慢性疼痛診療体制構築モデル事業	水野 泰之	心療内科学講座	500,000	補委	厚生労働省
局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第Ⅱ相試験	倉田宝保	内科学第一講座	130,000	補委	厚生労働省
切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準治療に関する研究	井上健太郎	外科学講座	199,239	補委	厚生労働省
認知症合併に対応した最適の治療選択と安全性の向上を目指した支援プログラムの開発	海堀昌樹	外科学講座	1,000,000	補委	厚生労働省
未来のがん診療に資する革新的技術を導入したバイオマーカー測定の有用性を評価する大規模前向き観察研究	蔦幸治	臨床病理学講座	455,000	補委	厚生労働省
高齢者非小細胞肺癌患者に対する抗がん薬のPK/PDに基づく個別化医療研究	倉田宝保	内科学第一講座	650,000	補委	厚生労働省

小計
13件

EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチン+ペメトレキセドを途中挿入する治療との	倉田宝保	内科学第一講座	390,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
がん治療中のせん妄の発症予防を目指した多職種せん妄プログラムの開発	海堀昌樹	外科学講座	1,040,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
がん患者の難治性神経障害性疼痛へのエビデンスに基づく標準的薬物療法の開発	蓮尾英明	心療内科学	117,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
ロボット支援手術における熟練技術追体験型学習システム	木下秀文	腎泌尿器外科学講座	2,600,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
革新的抗がんウイルス療法の実用化臨床研究	海堀昌樹	外科学講座	1,300,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
下肢装具から脱却するためのリハビリテーションを支援する歩行介入エンジンの研究開発	長谷公隆	リハビリテーション医学講座	21,450,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
直腸癌局所再発に対する標準治療確立のための研究開発	関本貢嗣	外科学講座	-	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
TCR多様性に基づく免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測に関する研究	倉田宝保	内科学第一講座	336,941	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
がん患者における患者報告アウトカム尺度開発に関する研究	木川雄一郎	外科学講座	-	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
脳機能補完による高齢者・障がい者の機能回復支援技術の研究開発 副題: 外骨格ロボットと脳機能ニューロフィードバックによる身体および認知・感覚運動機能のICTを活用したリハビリテー	長谷公隆	リハビリテーション医学講座	5,000,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
癌特異的マーカーPRAME の診断・治療への応用	谷口洋平	呼吸器外科学講座	2,500,000	補委	日本医療研究開発機構 (AMED)
ヒト脂肪幹細胞を用いた新しい乳房再建術の確立	覚道 奈津子	形成外科学講座	2,000,000	補委	公益財団法人 武田科学振興財団
Mixed Reality 技術を用いた新たな認知機能課題の研究開発	田口 周	リハビリテーション医学講座	500,000	補委	公益財団法人 フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団

小計
13件

脳転移開始細胞を標的とした新規がん治療法の開発	岩田 亮一	脳神経外科学講座	1,000,000	補委	公益財団法人赤枝医学研究財団
新規乳癌予後マーカーadipophilinの発現機序に基づく新規治療ターゲットの探索	石田 光明	臨床病理学講座	500,000	補委	公益財団法人大阪コミュニティ財団
腎癌の癌微小環境に関連する網羅的遺伝子解析とバイオマーカーの固定	大江 知里	臨床病理学講座	300,000	補委	公益財団法人大阪対がん協会
連続モニタリングによる肺癌・肺切除患者の病状回復プロセスの実態解明と早期社会復帰支援への活用	齊藤 朋人	呼吸器外科学講座	300,000	補委	公益財団法人大阪対がん協会
					小計 14件

合計 108 件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2. 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院に おける所属	題 名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nomura S, Ito T, Katayama Y, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Effects of recombinant thrombomodulin therapy and soluble human leukocyte antigen-G levels during hematopoietic stem cell transplantation.	Transplant immunology 53:28-33 2019/04	Original Article
2	Yokoi T, Minami S, Shiroshima T, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	A Phase II Study of Tailored-dose S-1 Plus Carboplatin Followed by Maintenance S-1 for Advanced Squamous Cell Lung Cancer: OSAKA-LCSG 1102.	Internal medicine 58(10):1405-1410 2019/05	Original Article
3	Nakaya A, Fujita S, Satake A, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Retrospective analysis of adolescent and young adult with lymphoma at two cancer facilities in Japan.	Leukemia research reports 12:100174 2019/05	Original Article
4	Azuma Y, Nakaya A, Fujita S, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Neutrophil-to-lymphocyte ratio (NLR) fails to predict outcome of diffuse large B cell lymphoma.	Leukemia research reports 12:100173 2019/05	Original Article
5	Miyashita N, Horita N, Higa F, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Validation of a diagnostic score model for the prediction of Legionella pneumophila pneumonia.	Journal of infection and chemotherapy 25(6):407-412 2019/06	Original Article
6	Satake, A; Hotta, M; Saito, R; et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Efficacy of CMV prophylaxis with letermovir early after transplantation.	Bone marrow transplantation 54(Suppl.1):448 2019/07	Others
7	Kibata K, Ito T, Inaba M, Tanaka A, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	The immunomodulatory-drug, lenalidomide, sustains and enhances interferon- α production by human plasmacytoid dendritic cells.	Journal of blood medicine 10:217-226 2019/07	Original Article
8	Ito T, Hashimoto Y, Tanaka Y, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Efficacy and safety of anagrelide as a first-line drug in cytoreductive treatment-naïve essential thrombocythemia patients in a real-world setting.	European journal of haematology 103(2):116-123 2019/08	Original Article
9	Ishiura Y, Fujimura M, Ohkura N, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Effect of triple therapy in patients with asthma-COPD overlap.	International journal of clinical pharmacology and therapeutics 57(8):384-392 2019/08	Original Article
10	Tanaka A, Ito T, Kibata K, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Serum high-mobility group box 1 is correlated with interferon- α and may predict disease activity in patients with systemic lupus erythematosus.	Lupus 28(9):1120-1127 2019/08	Original Article
11	Kurata, T; Nakagawa, K; Satouchi, M; et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Primary results from Japanese phase I study of pembrolizumab plus chemotherapy as front-line therapy for advanced NSCLC	Annals of oncology 30(Suppl.6):UNSP mdz338.105 2019/10	Others
12	Yoshioka H, Shimokawa M, Seto T, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Final overall survival results of WJTOG3405, a randomized phase III trial comparing gefitinib versus cisplatin with docetaxel as the first-line treatment for patients with stage IIIB/IV or postoperative recurrent EGFR mutation-	Annals of oncology 30(12):1978-1984 2019/12	Review
13	Yamanaka Y, Sawai Y, Nomura S.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Platelet-Derived Microparticles are an Important Biomarker in Patients with Cancer-Associated Thrombosis	International journal of general medicine 12:491-497 2019/12	Original Article
14	Nakaya A, Fujita S, Satake A, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Trend of salvage treatment in diffuse large B cell lymphoma in the outpatient chemotherapy era.	Molecular and clinical oncology 11(4):8147 2019/12	Original Article
15	Nakaya A, Fujita S, Satake A, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Intravascular Large B-Cell Lymphoma; Our Experience with the Disease at Two Medical Centers	Oncology Case Reports Journal 2(2):1015 2019/12	Case Report
16	Nomura S, Konishi A, Tsubokura Y, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Effects of recombinant thrombomodulin on long-term prognosis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Transplant immunology 57:101247 2019/12	Original Article
17	Nakaya A, Ishii K, Shimizu T, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Localized lymphadenopathy with myelodysplastic syndrome associated with tuberculosis.	Hematology reports 11(4):8147 2019/11	Case Report
18	Nakanishi T, Nakaya A, Nishio Y, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	A variant of acute promyelocytic leukemia with t(4;17)(q12;q21) showed two different clinical symptoms.	Hematology reports 11(3):7971 2019/09	Case Report
19	Yoshioka H, Kato T, Okamoto I, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Therapies after first-line afatinib in patients with EGFRm(+) NSCLC in Japan: retrospective analysis of LUX-Lung 3.	Future oncology 16(4):49-60 2020/02	Original Article
20	Ishiura Y, Fujimura M, Ohkura N, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Triple Therapy with Budesonide/Glycopyrrolate/Formoterol Fumarate Improves Inspiratory Capacity in Patients with Asthma-Chronic Obstructive Pulmonary Disease Overlap	International journal of chronic obstructive pulmonary disease 15:269-277 2020/02	Original Article

小計
20件

21	Miyashita N, Higa F, Aoki Y, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Distribution of Legionella species and serogroups in patients with culture-confirmed Legionella pneumonia	Journal of infection and chemotherapy 26(5):411-417 2020/02	Original Article
22	Nakaya A, Fujita S, Sataka A, et al.	血液呼吸器膠原病感染症内科	Evaluation of azacitidine in patients with transplant-ineligible myelodysplastic syndromes and acute myeloid leukemia with myelodysplasia-related changes in a Japanese clinical setting	Oncology letters 19(2):1317-1321 2020/02	Original Article
23	Shibutani H, Akita Y, Oishi Y, et al.	循環器内分泌代謝内科	The potential hazard of a non-slip element balloon causing distal longitudinal stent deformation: the first clinical experience and in vitro assessment.	Cardiology journal 26(6):645-652 2019/11	Original Article
24	Tsujimoto S, Miyasaka Y, Suwa Y, et al.	循環器内分泌代謝内科	Diastolic wall strain as a predictor of age-related cardiovascular events in patients with preserved left ventricular ejection fraction.	Heart and vessels 34(5):784-792 2019/05	Original Article
25	Harada A, Nomura E, Nishimura K, et al.	循環器内分泌代謝内科	Type 1 and type 2 iodothyronine deiodinases in the thyroid gland of patients with huge goitrous Hashimoto's thyroiditis.	Endocrine 64(3):584-590 2019/06	Original Article
26	Shibutani H, Akita Y, Matsui Y, et al.	循環器内分泌代謝内科	Left bundle branch block during antegrade balloon aortic valvuloplasty caused by stiff-wire loop stress.	Cardiovascular Intervention and Therapeutics 34(3):275-276 2019/07	Original Article
27	Taniguchi N, Miyasaka Y, Suwa Y, et al.	循環器内分泌代謝内科	Usefulness of Left Atrial Volume as an Independent Predictor of Development of Heart Failure in Patients With Atrial Fibrillation.	Journal of the American College of Cardiology 124(9):1430-1435 2019/11	Original Article
28	Fujii K, Kubo T, Otake H, et al.	循環器内分泌代謝内科	Expert consensus statement for quantitative measurement and morphological assessment of optical coherence tomography.	Cardiovascular Intervention and Therapeutics 35(1):13-18 2020/01	Original Article
29	Matsushita M, Shimatani M, Okazaki K.	消化器肝臓内科	Effective newly developed short-type double-balloon endoscope for ERCP in patients with Roux-en-Y gastric bypass.	Gastrointestinal endoscopy 89(4):904-905 2019/04	Others
30	Matsushita M, Koyabu M, Nishio A, et al.	消化器肝臓内科	Management of anomalous pancreaticobiliary junction.	Gastrointestinal endoscopy 89(4):898 2019/04	Others
31	Yoshida A, Kamata N, Yamada A, et al.	消化器肝臓内科	Risk Factors for Mortality in Pneumocystis jirovecii Pneumonia in Patients with Inflammatory Bowel Disease.	Inflammatory intestinal diseases 3(4):167-172 2019/04	Original Article
32	Horibe M, Sanui M, Sasaki M, et al.	消化器肝臓内科	Impact of Antimicrobial Prophylaxis for Severe Acute Pancreatitis on the Development of Invasive Candidiasis: A Large Retrospective Multicenter Cohort Study.	Pancreas 48(4):537-543 2019/04	Original Article
33	Furukawa T, Fukushima N, Itoi T, et al.	消化器肝臓内科	A Consensus Study of the Grading and Typing of Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas.	Pancreas 48(4):480-487 2019/04	Original Article
34	Yamashita T, Horibe M, Sanui M, et al.	消化器肝臓内科	Large Volume Fluid Resuscitation for Severe Acute Pancreatitis is Associated With Reduced Mortality: A Multicenter Retrospective Study.	Journal of clinical gastroenterology 53(5):385-391 2019/05	Original Article
35	Matsushita M, Nishio A, Okazaki K.	消化器肝臓内科	Meaningless comparison of resection depth between cold snare polypectomy and endoscopic mucosal resection.	Journal of gastroenterology 54(5):471-472 2019/05	Others
36	Hashimoto, N; Uchiyama, S; Kitano, M; et al.	消化器肝臓内科	A comparison of shear wave elastographic finding of submandibular glands in patients with early-stage and non-sjogren's syndrome.	Annals of the rheumatic diseases 78:1722-1723 2019/06	Others
37	Kurita, A; Zen, Y; Yasukawa, S; et al.	消化器肝臓内科	Evaluation of the new 22-gauge eus guided biopsy needle (acquire) comparing to another new 20-gauge fna needle with forward-cutting bevel (procure) in patients with autoimmune pancreatitis: a multicenter randomized trial in	Gastrointestinal endoscopy 89(6):AB612-AB612 2019/06	Others
38	Ashida, R; Kamata, K; Yasukawa, S; et al.	消化器肝臓内科	Histological diagnosis of pancreatic neuroendocrine tumor using 25g fna needle with core trap: multicenter prospective study.	Gastrointestinal endoscopy 89(6):AB590-AB591 2019/06	Others
39	Yamao, K; Sanuki, T; Ogura, T; et al.	消化器肝臓内科	A multicenter single-arm prospective study to assess the utility and safty of novel fully covered metal stent for obstructive jaundice in patients with unresectable distal malignant biliary obstruction	Gastrointestinal endoscopy 89(6):AB230-AB230 2019/06	Others
40	Aoi K, Nishio A, Okazaki T, et al.	消化器肝臓内科	Inhibition of the dephosphorylation of eukaryotic initiation factor 2alpha ameliorates murine experimental pancreatitis.	Pancreatology 19(4):548-556 2019/06	Original Article

小計
20件

41	Okazaki K.	消化器肝臓内科	Autoimmune Pancreatitis and IgG4-Related Disease: The Storiform Discovery to Treatment.	Digestive diseases and sciences 64(9):2385-2394 2019/09	Original Article
42	Matsushita M, Takahashi Y, Wakamatsu T, et al.	消化器肝臓内科	Ideal submucosal injection solution for colorectal endoscopic submucosal dissection.	Gastrointestinal endoscopy 90(3):533 2019/09	Others
43	Miyoshi H, Kano M, Kobayashi S, et al.	消化器肝臓内科	A Case of Diffuse Pancreatic Cancer Mimicking Autoimmune Pancreatitis.	Internal medicine (Tokyo, Japan) 58(17):2523-2527 2019/09	Original Article
44	Shigefuku R, Iwasa M, Katayama K, et al.	消化器肝臓内科	Hypozincemia is associated with human hepatocarcinogenesis in hepatitis C virus-related liver cirrhosis.	Hepatology research 49(10):1127-1135 2019/10	Original Article
45	Masamune A, Nabeshima T, Kikuta K, et al.	消化器肝臓内科	Prospective study of early chronic pancreatitis diagnosed based on the Japanese diagnostic criteria.	Journal of gastroenterology 54(10):928-935 2019/10	Original Article
46	Hisamatsu T, Kato S, Kunisaki R, et al.	消化器肝臓内科	Withdrawal of thiopurines in Crohn's disease treated with scheduled adalimumab maintenance: a prospective randomised clinical trial (DIAMOND2).	Journal of gastroenterology 54(10):860-870 2019/10	Original Article
47	Takaoka M.	消化器肝臓内科	Commentary on: "Dynamic liver function is an independent predictor of recurrence-free survival after curative liver resection for HCC - a retrospective cohort study".	International journal of surgery 71:168 2019/11	Others
48	Okazaki K.	消化器肝臓内科	2019 Japan Pancreas Society Presidential Address: The American Pancreatic Association/Japan Pancreas Society Joint Meeting on Maui Island - The Third American Pancreatic Association/Japan Pancreas Society Joint	Pancreas 48(10):1240-1241 2019/11	Original Article
49	Shijimaya, T; Takahashi, Y; Fujita, H; et al.	消化器肝臓内科	Recent examination of amebic colitis in our hospital	Journal of gastroenterology and hepatology 34(SI):600 2019/12	Others
50	Takahashi, Y; Nakamura, N; Tanaka, T; et al.	消化器肝臓内科	Endoscopic surveillance and BRTO for gastric varices (Examination from the ruptured cases)	Journal of gastroenterology and hepatology 34(SI):417 2019/12	Others
51	Shimatani, M; Mitsuyama, T; Tokuhara, M; et al.	消化器肝臓内科	Efficacy of ERCP using a newly developed short type double balloon endoscopy in postoperative patients with surgical anatomic variations; a large case series	Journal of gastroenterology and hepatology 34(SI):172 2019/12	Others
52	Suwa K, Yamaguchi T, Yoshida K, et al.	消化器肝臓内科	Smad Phospho-Isoforms for Hepatocellular Carcinoma Risk Assessment in Patients with Nonalcoholic Steatohepatitis.	Cancers 12(2):E286 2020/01	Original Article
53	Hirono S, Shimizu Y, Ohtsuka T, et al.	消化器肝臓内科	Recurrence patterns after surgical resection of intraductal papillary mucinous neoplasm (IPMN) of the pancreas; a multicenter, retrospective study of 1074 IPMN patients by the Japan Pancreas Society	Journal of gastroenterology 55(1):86-99 2020/01	Original Article
54	Suwa K, Seki T, Tsuda R, et al.	消化器肝臓内科	Short term treatment results of local ablation with water-cooled microwave antenna for liver cancer: Comparison with radiofrequency ablation	Molecular and clinical oncology 12(3):230-236 2020/01	Original Article
55	Tsukuda S, Ikeura T, Ito T, et al.	消化器肝臓内科	Clinical implications of elevated serum interleukin-6 in IgG4-related disease.	PLoS ONE 15(1):e0227479 2020/01	Original Article
56	Kawa S, Kamisawa T, Notohara K, et al.	消化器肝臓内科	Japanese Clinical Diagnostic Criteria for Autoimmune Pancreatitis, 2018: Revision of Japanese Clinical Diagnostic Criteria for Autoimmune Pancreatitis, 2011.	Pancreas 49(1):e13-e14 2020/01	Original Article
57	Kurita A, Yasukawa S, Zen Y, et al.	消化器肝臓内科	Comparison of a 22-gauge Franseen-tip needle with a 20-gauge forward-bevel needle for the diagnosis of type 1 autoimmune pancreatitis: a prospective randomized, controlled multicenter study	Gastrointestinal endoscopy 91(2):373-381 2020/02	Original Article
58	Ohtsuka T, Nakamura M, Hijioka S, et al.	消化器肝臓内科	Prediction of the Probability of Malignancy in Mucinous Cystic Neoplasm of the Pancreas With Ovarian-Type Stroma: A Nationwide Multicenter Study in Japan	Pancreas 49(2):181-186 2020/02	Original Article
59	Shimatani M, Tokuhara M, Okazaki K.	消化器肝臓内科	Safe hemostasis method using newly developed hemoclip for post-endoscopic papillary large balloon dilation with sphincterotomy bleeding.	Digestive endoscopy 32(3):e34-e35 2020/03	Original Article
60	Okusaka T, Nakamura M, Yoshida M, et al.	消化器肝臓内科	Clinical Practice Guidelines for Pancreatic Cancer 2019 From the Japan Pancreas Society: A Synopsis	Pancreas 49(3):326-335 2020/03	Original Article

小計
20件

61	Yasuda H, Horibe M, Sanui M, et al.	消化器肝臓内科	Etiology and mortality in severe acute pancreatitis: A multicenter study in Japan	Pancreatology 20(3):307-317 2020/03	Original Article
62	Hasuo H, Sakuma H, Uchitani K, et al.	心療内科	Short-Term Effects of 10% Lidocaine Ointment on Allodynia in Cancer Pain: A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Crossover Study.	Journal of palliative medicine 22(11):1364-1369 2019/11	Original Article
63	Hasuo H, Kanbara K, Fukunaga M	心療内科	Effect of Heart Rate Variability Biofeedback Sessions With Resonant Frequency Breathing on Sleep: A Pilot Study Among Family Caregivers of Patients With Cancer	Frontiers in medicine 7:61 2020/02	Original Article
64	Nakamura M, Kaneko S, Dickson DW, et al.	脳神経内科	Aberrant Accumulation of BRCA1 in Alzheimer Disease and Other Tauopathies.	Journal of neuropathology and experimental neurology 79(1):22-33 2020/01	Original Article
65	Omachi T, Shimo T, Nakano T, et al.	小児科	Posterior reversible encephalopathy syndrome: pitfalls of T2 shine through in MRI	Clinical Case Reports and Reviews 5(3):1-2 2019/07	Case Report
66	Fujii Y, Morimoto T	小児科	Utility of Mosapride Citrate in Pediatric Functional Constipation with Low Bowel Movement Frequency	Mathews Journal of Pediatrics 4(1):20 2019/11	Original Article
67	Kohata E, Kimata T, Onuma C, et al.	小児科	Natural course of isolated mild congenital hydronephrosis: A 2-year prospective study at a single center in Japan.	International journal of urology 26(6):643-647 2019/06	Original Article
68	Tsuji S, Yamaguchi T, Akagawa Y, et al.	小児科	High daily salt intake had a negative impact on how well nocturnal enuresis treatment worked on children aged 7-10 years.	Acta paediatrica (Oslo, Norway : 1992) 109(1):193-197 2020/01	Original Article
69	Akagawa Y, Kimata T, Akagawa S, et al.	小児科	Optimal bacterial colony counts for the diagnosis of upper urinary tract infections in infants.	Clinical and experimental nephrology 24(3):253-258 2020/03	Original Article
70	Tsuji S.	小児科	Significance of hyponatremia in Kawasaki disease	Pediatrics international 62(3):307 2020/03	Others
71	Kaibori M, Yoshii K, Yokota I, et al.	外科	Impact of Advanced Age on Survival in Patients Undergoing Resection of Hepatocellular Carcinoma: Report of a Japanese Nationwide Survey.	Annals of surgery 269(4):692-699 2019/04	Original Article
72	Matsui Y, Hirooka S, Kotsuka M, et al.	外科	Prognosis in Patients With Gallbladder Edema Misdiagnosed as Cholecystitis.	JLS : Journal of the Society of Laparoendoscopic Surgeons 23(2):e2019.00022. 2019/04	Case Report
73	Satoi, S; Unno, M; Motoi, F; et al.	外科	The effect of neoadjuvant chemotherapy with gemcitabine and S-1 for resectable pancreatic cancer (randomized phase II/III trial; Prep-02/J SAP-05).	Journal of clinical oncology 37(15):S4126 2019/05	Others
74	Sakaguchi T, Hamada Y, Shirai T, et al.	外科	Postoperative complications of umbilical loop colostomy for anorectal malformations in neonates compared with the conventional abdominal stoma: a non-randomized study	World Journal of Pediatric Surgery 2(1):e000031 2019/05	Original Article
75	Kaibori M, Yoshii K, Hasegawa K, et al.	外科	Treatment Optimization for Hepatocellular Carcinoma in Elderly Patients in a Japanese Nationwide Cohort.	Annals of surgery 270(1):121-130 2019/07	Original Article
76	Sakaguchi T, Valente R, Tanaka K, et al.	外科	Surgical treatment of metastatic pancreatic ductal adenocarcinoma: A review of current literature.	Pancreatology 19(5):672-680 2019/07	Original Article
77	Kaibori M, Matsui K, Yoshii K, et al.	外科	Perioperative exercise capacity in chronic liver injury patients with hepatocellular carcinoma undergoing hepatectomy.	PLoS ONE 14(8):e0221079 2019/08	Original Article
78	Shigeta Y, Fujiwara N, Koike M, et al.	外科	Bone mineral density is increased in the cadmium-induced omphalocele chick model by using three-dimensional micro-computed tomography.	Pediatric surgery international 35(8):911-914 2019/08	Original Article
79	Matsui Y, Hirooka S, Yamaki S, et al.	外科	Assessment of clinical outcome of cholecystectomy according to age in preparation for the "Silver Tsunami".	American journal of surgery 218(3):567-570 2019/09	Original Article
80	Kosaka H, Satoi S, Yamamoto T, et al.	外科	Clinical impact of the sequentially-checked drain removal criteria on postoperative outcomes after pancreatectomy: a retrospective study.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences 26(9):426-434 2019/09	Original Article

小計
20件

81	Hishikawa H, Kaibori M, Tsuda T, et al.	外科	Near-infrared fluorescence imaging and photodynamic therapy with indocyanine green lactosomes has antineoplastic effects for gallbladder cancer.	Oncotarget 10(54):5622-5631 2019/09	Original Article
82	Satoi S, Yamamoto T, Yamaki S, et al.	外科	Surgical indication for and desirable outcomes of conversion surgery in patients with initially unresectable pancreatic ductal adenocarcinoma	Annals of Gastroenterological Surgery 4(1):6-13 2019/10	Review
83	Nakatake R, Hishikawa H, Kotsuka M, et al.	外科	The Proton Pump Inhibitor Lansoprazole Has Hepatoprotective Effects in In Vitro and In Vivo Rat Models of Acute Liver Injury.	Digestive diseases and sciences 64(10):2854-2866 2019/10	Original Article
84	Matsushima H, Kaibori M, Hatta M, et al.	外科	Efficacy of a third-generation oncolytic herpes simplex virus in neuroendocrine tumor xenograft models.	Oncotarget 10(67):7132-7141 2019/12	Original Article
85	Kaibori M, Miyata G, Yoshii K, et al.	外科	Perioperative management for gastrointestinal surgery after instituting interventions initiated by the Japanese Society of Surgical Metabolism and Nutrition.	Asian journal of surgery 43(1):124-129 2020/01	Original Article
86	Miki H, Fukunaga Y, Nagasaki T, et al.	外科	Feasibility of needlescopic surgery for colorectal cancer: safety and learning curve for Japanese Endoscopic Surgical Skill Qualification System-unqualified young surgeons	Surgical endoscopy 34(2):752-757 2020/02	Original Article
87	Matsui Y, Hirooka S, Sakaguchi T, et al.	外科	Bile Duct Stones Predict a Requirement for Cholecystectomy in Older Patients.	World journal of surgery 44(3):721-729 2020/03	Original Article
88	Hino H, Karasaki T, Yoshida Y, et al.	呼吸器外科	Competing Risk Analysis in Lung Cancer Patients Over 80 Years Old Undergoing Surgery.	World Journal of Surgery 43(7):1857-1866 2019/07	Original Article
89	Saito, T; Murakawa, T	呼吸器外科	Searching for an arrow hitting two targets: the time to evaluate long-term outcomes of video-assisted thoracoscopic surgery lobectomy for early-stage lung cancer	Journal of Thoracic Disease 11(Suppl 15):S1995-S1998 2019/09	Review
90	Kaneda H, Nakano T, Murakawa T.	呼吸器外科	Measurement of intrapleural pressure in patients with spontaneous pneumothorax: a pilot study.	BMC pulmonary medicine 19(1):267 2019/12	Original Article
91	Nakano T, Kaneda H, Kawaura T, et al.	呼吸器外科	Ligating the pulmonary vein at the pericardial reflection is useful for preventing thrombus formation in the pulmonary vein stump after left upper lobectomy.	General thoracic and cardiovascular surgery 67(5):450-456 2019/05	Original Article
92	Nobuya Zempo	心臓血管外科	Vascular Surgery in Japan:2013 annual report by the Japanese Society for Vascular Surgery.	Ann Vasc Dis 12(4):566-586 2019/12	Case Report
93	Komai H.	心臓血管外科	Multidisciplinary Treatment for Critical Limb Ischemia in Peripheral Arterial Disease.	Annals of Vascular Diseases 12(2):151-156 2019/06	Original Article
94	Okada T, Minato N, Kanemoto SY, et al.	心臓血管外科	Intimal regeneration after coronary endarterectomy and onlay grafting in coronary artery bypass grafting.	General thoracic and cardiovascular surgery 67(8):677-683 2019/08	Original Article
95	Iwata R, Lee JH, Hayashi M, et al.	脳神経外科	ICOSLG-mediated regulatory T cell expansion and IL-10 production promote progression of glioblastoma.	Neuro-oncology 22(3):333-344 2020/03	Original Article
96	Sawada M, Oe K, Hirata M, Kawamura H, et al.	整形外科	Linezolid versus daptomycin treatment for periprosthetic joint infections: a retrospective cohort study.	Journal of orthopaedic surgery and research 14(1):334 2019/10	Original Article
97	Ueda N, Oe K, Nakamura T, Tsuta K, et al.	整形外科	Sonication of Extracted Implants Improves Microbial Detection in Patients With Orthopedic Implant-Associated Infections.	The Journal of arthroplasty 34(6):1189-1196 2019/06	Original Article
98	Kamo T, Kurose S, Ohno H, Murata M, et al.	整形外科	Epigenetic mechanism controls PDK4 gene activation before and after exercise therapy following artificial knee arthroplasty.	Clinical interventions in aging 14:1433-1443 2019/08	Original Article
99	Kamo T, Kurose S, Ohno H, et al.	整形外科	Association of epigenetics of the PDK4 gene in skeletal muscle and peripheral blood with exercise therapy following artificial knee arthroplasty.	Journal of physiological anthropology 39(1):7 2020/03	Original Article
100	Takegawa M, Kakudo N, Morimoto N, et al.	形成外科	Primary cutaneous adenoid cystic carcinoma on the lower leg.	Journal of surgical case reports 2019(6):rjz201 2019/06	Case Report

小計
20件

101	Kakudo N, Morimoto N, Ogawa T, et al.	形成外科	FGF-2 combined with bilayer artificial dermis composed of collagen matrix prompts generation of fat pad in subcutis of mice.	Medical molecular morphology 52(2):73-81 2019/06	Original Article
102	Kakudo N, Morimoto N, Ma Y, et al.	形成外科	Differences between the Proliferative Effects of Human Platelet Lysate and Fetal Bovine Serum on Human Adipose-Derived Stem Cells.	Cells 8(10):E1218 2019/10	Original Article
103	Fukui M, Kakudo N, Morimoto N, et al.	形成外科	Squamous Cell Carcinoma Arising From an Epidermal Cyst of the Buttock: A Case Report.	Eplasty 19:ic18 2019/10	Case Report
104	Matsuoka Y, Kakudo N, Fukui M, et al.	形成外科	Giant plexiform schwannoma in the plantar aspect of the foot: a case report.	Journal of surgical case reports 2019(11):rjz352 2019/11	Case Report
105	Ma Y, Kakudo N, Morimoto N, et al.	形成外科	Fibroblast growth factor-2 stimulates proliferation of human adipose-derived stem cells via Src activation.	Stem cell research & therapy 10(1):350 2019/11	Original Article
106	Nagama T, Kakudo N, Fukui M, et al.	形成外科	Heterotopic Endometriosis in the Inguinal Region: A Case Report and Literature Review.	Eplasty 19:ic19 2019/12	Case Report
107	Hihara M, Yagura T, Takegawa M, et al.	形成外科	A novel fixation method for panfacial fracture using an Ilizarov-type external fixator.	Trauma case reports 22:100214 2019/06	Case Report
108	Ogawa Y, Ogawa Y.	形成外科	Lateral nasal advancement flap for reconstruction of the nasal sidewall and dorsum.	Archives of facial plastic surgery 47(1):102-105 2020/01	Original Article
109	Mitsui T, Morimoto N, Mahara A, et al.	形成外科	Exploration of the Pressurization Condition for Killing Human Skin Cells and Skin Tumor Cells by High Hydrostatic Pressure.	BioMed research international 2020:9478789 2020/01	Original Article
110	Kakudo N, Morimoto N, Ogawa T, et al.	形成外科	Effects of Fibroblast Growth Factor-2 Combined With a Collagen/Gelatin Sponge for Adipogenesis in the Mouse Subcutis.	Annals of plastic surgery 84(2):216-221 2020/02	Original Article
111	Mitsui T, Morimoto N, Mahara A, et al.	形成外科	High Hydrostatic Pressure Therapy Annihilates Squamous Cell Carcinoma in a Murine Model.	Biomed Research International 2020:3074742 2020/03	Original Article
112	Taniguchi H, Kawakita S, Kinoshita H, et al.	腎泌尿器外科	Testosterone Profiles after Brachytherapy for Localized Prostate Cancer.	Urology 126:121-127 2019/04	Original Article
113	Yoshida T, Inoue T, Taguchi M, et al.	腎泌尿器外科	Ureteral wall thickness as a significant factor in predicting spontaneous passage of ureteral stones of ≤10 mm: a preliminary report.	World journal of urology 37(5):913-919 2019/05	Original Article
114	Yoshida T, Inoue T, Taguchi M, et al.	腎泌尿器外科	Efficacy and safety of complete intra-ureteral stent placement versus conventional stent placement in relieving ureteral stent-related symptoms: A randomized, prospective, single-blinded, multicenter clinical trial	The Journal of urology 202(1):164-170 2019/07	Original Article
115	Ohsugi H, Takizawa N, Kinoshita H, et al.	腎泌尿器外科	Pheochromocytoma arising from an ectopic adrenal tissue in multiple endocrine neoplasia type 2A.	Endocrinology, diabetes & metabolism case reports 2019:EDM190073 2019/10	Original Article
116	Yanishi M, Kinoshita H, Koito Y, et al.	腎泌尿器外科	Adherent Perinephric Fat Is a Surgical Risk Factor in Laparoscopic Single-Site Donor Nephrectomy: Analysis Using Mayo Adhesive Probability Score.	Transplantation proceedings 52(1):84-88 2020/02	Original Article
117	Taniguchi H, Matsuda T, Nakaoka Y, et al.	腎泌尿器外科	Sexual Activity of Patients Undergoing Testicular Sperm Extraction.	Sexual medicine 8(1):30-35 2020/03	Original Article
118	Taniguchi H, Mulhall JP	腎泌尿器外科	Intraoperative Intracavernosal Liposomal Bupivacaine (Exparel) Injection Does Not Affect Systemic Hemodynamics	The journal of sexual medicine 17(3):526-530 2020/03	Original Article
119	Yoshida T, Ohe C, Tsuzuki T, Sugi M, et al.	腎泌尿器外科	Clinical impact of segmental renal vein invasion on recurrence in patients with clinical T1 renal cell carcinoma undergoing partial nephrectomy.	International journal of clinical oncology 25(3):464-471 2020/03	Original Article
120	Yoshida T, Takizawa N, Matsuda T, et al.	腎泌尿器外科	GATA4/6 regulate DHH transcription in rat adrenocortical autografts.	Scientific reports 10(1):446 2020/01	Original Article

小計
20件

121	Takahashi, H; Nakagawa, K; Yamada, H; et al.	眼科	Optical Coherence Tomography Angiography in laser-induced mouse branch retinal vein occlusion model	Investigative ophthalmology & visual science 60(9):3073 2019/07	Others
122	Mori H, Yamada H, Sato Y, et al.	眼科	Optical coherence tomographic angiography and widefield indocyanine green angiography of a choroidal macrovessel	American journal of ophthalmology case reports 18:100612-100612 2020/03	Original Article
123	Kobayashi Y, Konno Y, Kanda A, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Critical role of CCL4 in eosinophil recruitment into the airway.	Clinical and experimental allergy 49(6):853-860 2019/06	Original Article
124	Kojima Y, Kawaoka Y, Sawada S, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Clinical significance of periosteal reaction as a predictive factor for treatment outcome of medication-related osteonecrosis of the jaw.	Journal of bone and mineral metabolism 37(5):913-919 2019/09	Original Article
125	Kanda A, Yun Y, Van Bui D, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Multiple Biological Aspects of Eosinophils in Host Defense, Eosinophil-Associated Diseases, Immunoregulation, and Homeostasis: Is Their Role Beneficial, Detrimental, Regulator or Bystander?	Biological & pharmaceutical bulletin 43(1):20-30 2020/01	Original Article
126	Kan N, Utsunomiya K, Kono Y, et al.	放射線科	Radioiodine (I-131) Ablation in Outpatient After Total Thyroidectomy for the Differentiated Thyroid Cancer.	Bio Medical Journal of Scientific & Technical Research 24(1):17872-17879 2019/12	Original Article
127	Kariya S, Nakatani M, Ono Y, Maruyama T, et al.	放射線科	Percutaneous Balloon Plasty for Thoracic Duct Occlusion in a Patient with Chylothorax and Chylous Ascites.	Cardiovascular and interventional radiology 42(5):779-783 2019/05	Original Article
128	Komemushi Y, Komemushi A, Morimoto K, et al.	放射線科	Quantitative evaluation of age-related changes to pelvic floor muscles in magnetic resonance images from 369 patients.	Geriatrics & Gerontology International 19(8):834-837 2019/08	Original Article
129	Koike Y, Akino Y, Sumida I, et al.	放射線科	Feasibility of synthetic computed tomography generated with an adversarial network for multi-sequence magnetic resonance-based brain radiotherapy	Journal of Radiation Research 61(1):92-103 2019/12	Original Article
130	Ueno Y, Kariya S, Nakatani M, et al.	放射線科	Simultaneous drainage of the abscess cavity and intestinal tract for an intra-abdominal abscess caused to major leakage: A case report.	Interventional Radiology 2020(5):10-13 2020/01	Original Article
131	Koike Y, Ohira S, Akino Y, et al.	放射線科	Deep learning-based virtual noncontrast CT for volumetric modulated arc therapy planning: Comparison with a dual-energy CT-based approach	Medical Physics 47(2):371-379 2020/02	Original Article
132	Kariya S, Nakatani M, Ono Y, et al.	放射線科	Provocative angiography for lower gastrointestinal bleeding.	Japanese journal of radiology 38(3):248-255 2020/03	Original Article
133	Tsubokura H, Ikoma Y, Yokoe T, et al.	産婦人科	Ovarian hyperstimulation syndrome following surgical removal of a complete hydatidiform mole: a case report.	Journal of medical case reports 13(1):292 2019/09	Original Article
134	Yoshida T, Watanabe Y, Hashimoto T, et al.	麻酔科	Effects of Catheter Tip Location on the Spread of Sensory Block Caused by a Continuous Thoracic Paravertebral Block: A Prospective, Randomized, Controlled, Double-Blind Study	BioMed research international 2019:1051629 2019/05	Original Article
135	Yoshida T, Nakamoto T	麻酔科	Misconceptions on the injection level in the "proximal lateral approach" for sciatic nerve block.	Regional Anesthesia & Pain Medicine 2019(44):1109-1110 2019/11	Others
136	Kusunoki M, Hayashi M, Shoji T, et al.	麻酔科	Propofol inhibits stromatoxin-1-sensitive voltage-dependent K ⁺ channels in pancreatic β - cells and enhances insulin secretion.	PeerJ 7:e8157 2019/12	Original Article
137	Umegaki T, Kunisawa S, Nishimoto K, et al.	麻酔科	Effectiveness of combined antithrombin and thrombomodulin therapy on in-hospital mortality in mechanically ventilated septic patients with disseminated intravascular coagulation	Scientific reports 10(1):4874 2020/03	Original Article
138	Yoshida T, Makamoto T	麻酔科	Misconceptions on the injection level in the "proximal lateral approach" for sciatic nerve block	Regional Anesthesia & Pain Medicine 2019(44):1109-1110 2019/11	Original Article
139	shoji T, Hayashi M, Sumi C, et al.	麻酔科	Pharmacological polysulfide suppresses glucose-stimulated insulin secretion in an ATP-sensitive potassium channel-dependent manner	Scientific reports 9(1):19377 2019/12	Original Article
140	Miyasaka C, Ishida M, Hamada Y, et al.	病理診断科	Immunohistochemical analyses to determine pathogenesis of tenosynovitis with psammomatous calcification in the wrist: A case report.	Biomedical reports 11(1):27-30 2019/05	Original Article

小計
20件

141	Ishida M, Okano K, Sandoh K, et al.	病理診断科	Cytological features of basal cell adenocarcinoma of the salivary glands.	Diagnostic cytopathology 47(7):733-737 2019/06	Original Article
142	Ishida M, Mizumoto A, Yonemura Y, et al.	病理診断科	Prognostic significance of the presence of epithelial cell clusters in the ascites of patients with pseudomyxoma peritonei.	Diagnostic cytopathology 47(10):1024-1027 2019/10	Original Article
143	Ishida M, Okano K, Sandoh K, et al.	病理診断科	Cytological features of basal cell adenoma of salivary glands: Analysis of 19 cases emphasizing stromal spindle cells.	Diagnostic cytopathology 47(7):665-669 2019/06	Original Article
144	Miyasaka C, Ishida M, Kouchi Y, et al.	病理診断科	Wagner-Meissner neurilemmoma of the lip occurring in a patient with neurofibromatosis type 1: A case report.	Molecular and Clinical Oncology 12(1):41-43 2020/01	Original Article
145	Ishida M, Okano K, Sandoh K, et al.	病理診断科	Neuroendocrine carcinoma diagnosis from bile duct cytological specimens: A retrospective single-center study.	Diagnostic cytopathology 48(2):154-158 2020/02	Original Article
146	Muratsu A, Muroya T, Kuwagata Y	救急医学科	Takotsubo cardiomyopathy in the intensive care unit	Acute medicine & surgery 6(2):152-157 2019/04	Original Article
147	Nakamura F, Yui R, Muratsu A, et al.	救急医学科	Study of the prognostic factor of the colon perforation case with the pan-peritonitis that needed emergency surgery: a single-center observational study.	Acute medicine & surgery 6(4):379-384 2019/06	Original Article
148	Nakamura F, Yui R, Muratsu A, et al.	救急医学科	A strategy for improving the prognosis of non-occlusive mesenteric ischemia (NOMI): a single-center observational study.	Acute medicine & surgery 6(4):365-370 2019/10	Original Article
149	Nakamura F, Kajino K, Kitamura T, et al.	救急医学科	Impact of age on survival of patients with out-of-hospital cardiac arrest transported to tertiary emergency medical institutions in Osaka, Japan.	Geriatrics & Gerontology International 19(11):1088-1095 2019/11	Original Article
150	Muratsu A, Muroya T, Kishimoto M, et al.	救急医学科	Gastric emphysema with portal emphysema due to superior mesenteric artery syndrome developing septic shock: a case report.	Acute medicine & surgery 6(4):404-407 2019/10	Case Report

小計
10件

(注)1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

合計
150件

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

- 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数、該当ページ」の形式で記載すること。
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
~					

計 件

(注) 1当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを入力すること。

2記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ○申請書手続き及び判定の通知 ○研究の実施及び報告 ○有害事象の報告 ○健康被害に対する保障 ○実施制限及び再審査 ○公開	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 産学連携活動に伴い発生する利益相反を適切にマネジメントすることに関し必要な事項を定めることにより、本法人及び教職員等の社会的信頼を確保するとともに、もって教育、研究及び社会への貢献を継続的かつ適切に遂行することを目的としている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回 ※令和元年10月21日実施

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回+(DVD講習会19回)
・ 研修の主な内容 倫理講習会：	

- ・第9回 科学的合理性に基づく研究計画の立て方
- ・第10回 臨床研究法で求められるモニタリングとは

臨床研究ワークショップ：

- ・第16回 今さら聞けない統計の基礎～臨床研究を始める前に～
- ・第17回 人を対象とした医学研究の進め方

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

多くの診療各科ではその所属する学会が定める専門医を目指して研修が行われますが、本院では研修の年ごとの具体的目標と研修計画が設定されています。また、研修を円滑に進捗させるため研修進捗状況の把握、評価し問題があれば改善を勧告する後期研修システムを備えています。

また、手術支援ロボット ダ・ヴィンチSiの導入など、高度かつ先進的な医療に関する研修を行っています。

平成25年4月には、本院に直結する新学舎がオープンし、最新の研究室、基本的な医療技術及び医療実践能力の向上を目的としたシミュレーションセンターや電子ジャーナルを取り入れた図書館などを備え研修を最高レベルで一貫して行える体制を整えています。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	114 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
野村 昌作	血液呼吸器膠原病感染症内科	診療部長・主任教授	39年	アレルギー疾患内科またはアレルギー科、リウマチ科を含む
塩島 一郎	循環器腎内分泌代謝内科	診療部長・主任教授	34年	
長沼 誠	消化器肝臓内科	診療部長・主任教授	28年	
福永 幹彦	心療内科	診療部長・主任教授	35年	
薬師寺 祐介	脳神経内科	診療部長・主任教授	24年	
加藤 正樹	精神神経科	診療科長・准教授	23年	
金子 一成	小児科	診療部長・主任教授	36年	
関本 貢嗣	外科	診療部長・主任教授	39年	消化器外科、乳腺外科、小児外科を含む
湊 直樹	心臓血管外科	診療部長・主任教授	39年	
村川 知弘	呼吸器外科	診療部長・主任教授	28年	
浅井 昭雄	脳神経外科	診療部長・主任教授	39年	
齋藤 貴徳	整形外科	診療部長・主任教授	37年	
長谷 公隆	リハビリテーション科	診療部長・主任教授	35年	

楠本 健司	形成外科	診療部長・主任教授	40年	
谷崎 英昭	皮膚科	診療部長・主任教授	18年	
松田 公志	腎泌尿器外科	診療部長・主任教授	42年	
高橋 寛二	眼科	診療部長・主任教授	36年	
岩井 大	耳鼻咽喉科	診療部長・主任教授	37年	内分泌外科を含む
谷川 昇	放射線科	診療部長・主任教授	35年	
岡田 英孝	産婦人科	診療部長・主任教授	27年	
上林 卓彦	麻酔科	診療部長・主任教授	33年	
鳶 幸治	臨床検査医学科 ・病理診断科	診療部長・主任教授	24年	
鍬方 安行	救急医学科	診療部長・主任教授	37年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容<ul style="list-style-type: none">①血液ガスの基礎・サンプルの取り扱いについて②採血を行う上での注意事項・プレイン採血管の注意事項について③分子標的治療におけるバイオマーカー 次世代遺伝子関連検査・研修の期間・実施回数<ul style="list-style-type: none">①令和元年8月8日、②令和元年9月3日、③令和2年2月27日・研修の参加人数<ul style="list-style-type: none">① 23名、②30名、③24名
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 澤田敏
管理担当者氏名	事務部長 藤原宏司、看護部長 島村里香、薬剤部長 谷川昇

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	管理課	
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	手術部	
		看護記録	各病棟	
		検査所見記録	臨床検査部	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	病歴情報課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病歴情報課	
				当院は2006年開院時から電子カルテを導入しており、保管期間は診療が完了した日から20年としている。紹介状や同意書等の紙媒体で生成されるものについては、電子カルテにスキャンし、紙媒体も原本として保管している。また、画像フィルムについてはすべてのモダリティのフィルムレス化を実施しており、現物保管は行っていない。診療録を病院外へ持ち出すことは、個人情報保護の観点から認めていない。患者データの抽出は、所定の抽出依頼書に所属部門長の承認を受けた上で医療情報部へ申請を行う。医療情報部長は利用目的を審査の上、患者データの抽出を行う。依頼者は患者データの利用が完了次第、速やかに依頼者の責任のもと患者データを削除する。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	
		高度の医療の提供の実績	各診療科	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科	
		高度の医療の研修の実績	各診療科	
		閲覧実績	病歴情報課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携部	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
	の十一第一	条	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
			医療に係る安全管理のための職	医療安全管理部
		・保管部署で管理		
		・保管部署で管理		

		員研修の実施状況		
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	第四号	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
	第五号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第六号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	第七号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	第八号	医療機器安全管理責任者の配置状況	医用工学センター
	第九号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医用工学センター
	第十号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医用工学センター
第十一号	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医用工学センター	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	用度課
		監査委員会の設置状況	法人 総合企画課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	内部監査室
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	管理課
管理者が有する権限に関する状況	管理課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人 総合企画課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 澤田敏
閲覧担当者氏名	管理課長 塚本雄大 医事課長 山本和彦 病歴情報課長 石原久美子
閲覧の求めに応じる場所	1階 情報ライブラリー室
閲覧の手続の概要 ・ 閲覧申請書を記入の上、申請窓口である管理課へ提出する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理に関する基本的考え方 2. 医療安全管理対策委員会その他組織に関する基本的事項 3. 職員に対する医療安全管理のための研修に関する基本方針 4. 医療事故報告等の医療安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 (患者等に対する当指針の閲覧に関する基本方針を含む) 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他医療安全の推進のため必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (☒ ・無) ・ 開催状況：年 30 回 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理対策委員会 (12回) 医療事故対応委員会 (8回) セーフティーマネージャー委員会 (10回) 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 21 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて)： <ul style="list-style-type: none"> ○院内の安全ルール ○院内の安全ルール (時間内) ○第1回災害医療研修会 ○褥瘡対策セミナー ○チームSTEPPS研修 (中級編) ～チーム医療で何ができると良いですか～ ○第2回災害医療研修会 ○外部講師による医療安全講習会 説明と同意 その法的視点 ○インシデント事例の対策など ○国際交流セミナー 安全なチーム医療を目指して ○医療安全の基本 ～医療事故発生時ならびにその後の対応を中心に～ ○医療安全大会 ○事例検討会 ○苦情・相談とその対応 (時間内) ○医薬品安全講演会 鎮痛・鎮静に使用する薬剤の特徴と注意点 ○職場単位での出張研修会 ○e-ラーニング <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー既往歴の確認不足 ・気管切開チューブの事故抜去 ・RRS概論 ・患者確認と指差呼称 ・指差呼称って何だろう？ ・チームステップス 初級編 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (・無)
 - 1) 電子化入力による運用をしている。第1報は全職員、第2報はセーフティーマネージャーが確認の上、入力を行う。
 - 2) 事故報告等の目的は、「個人を罰することではなく事故の再発防止に活用する事である」と定めている。
 - 3) 報告すべき事項は、療養指導・情報提供に関することからその他まで29項目であり、項目の中には、入院患者が死亡、死産した場合の死亡の事実・死亡前の状況、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要となったもので、院内で定めた水準以上の事象が発生した際の事実と発生前の状況などの項目も含まれている。
 - 4) 報告先は、セーフティーマネージャー、所属部門の部長を経て医療安全管理部、病院長である。
緊急を要する場合は、直接病院長へ報告し、指示を受けて対処する。
 - 5) 医療安全管理部は報告を受けて速やかに内容を把握し、当該のセーフティーマネージャーと分析し、対策を講じる。
 - 6) 適切な報告のための職員への指導や研修
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 1) 死亡・死産報告の義務化と合併症報告の対象の一部基準化
 - 2) 医療安全管理マニュアルの年1回の改訂
 - 3) 計画的な医療安全講習の実施。受講内容の理解度を測る確認テストを兼ねたアンケートの実施
 - 4) 技術研修(超音波装置を使用しての中心静脈穿刺)
 - 5) 新入職者、中途入職者への医療安全に関するオリエンテーション
 - 6) 医療事故防止策は、セーフティーマネージャーが中心となり、時系列と必要に応じてRCA分析を行い、背景要因を明らかにすることから立案を行う
 - 7) 事例から検討された医療の安全確保のための方策の職員への周知と周知状況の確認
 - 8) セーフティーマネージャー会への研修医の出席
 - 9) 毎月、部署やセーフティーマネージャー委員へ医療安全の情報を広報するマンスリーレポートの配布。
 - 10) 医療安全管理部のHPによる広報活動

<安全ラウンド>

- 1) テーマに沿ったセーフティーマネージャー委員を交えた院内ラウンド
- 2) 医療事故発生時、発生部署、関連部署への聞き取り
- 3) 日本私立医科大学協会による他の私立医科大学との相互ラウンド

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> I 医療関連感染対策に関する基本的な考え II 感染対策委員会の設置 III 病院感染対策マニュアル IV 感染症の報告 V 医療関連感染発生時の対応 VI 職員研修の基本方針 VII 患者への指針の公開 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年13回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○MRSAおよび多剤耐性菌の検出状況把握と対策 ○抗菌薬の使用状況調査と感受性の推移調査 ○抗菌薬使用報告書、TDM等の抗菌薬適正使用状況調査 ○院内感染発生時の対応、対策 ○感染対策研修会の企画および開催 ○院内ラウンドサーベイランスの実施 ○血液培養陽性症例ラウンドの実施 ○針刺事故の発生状況と事故防止対策の検討 ○感染防止対策地域連携合同カンファレンスでの報告 ○滅菌材料部滅菌状況報告 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 10回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 国内外の感染症の発生状況と感染対策の基本 病院職員として知っておくべき感染対策 院内の経口抗菌薬の使用量推移 当院のアンチバイオグラム 当院の抗真菌薬使用量推移と真菌バンドルの紹介 ICTラウンド報告 適正な細菌検体の採取 PK/PD理論を用いた効果的な抗菌薬投与方法 針刺し血液曝露の傾向と対策 インフルエンザ・ノロウイルス対策、抗菌薬適正使用 院内感染対策Q&A インフルエンザシーズンの感染症対策 インフルエンザの正しい知識 医療従事者が知っておくべき薬剤耐性菌 抗菌薬におけるTDMのポイント 尿路感染、感染対策について 新型コロナウイルス感染症と感染対策 標準予防策、抗菌薬を大事に使う（AMRに立ち向かうために）、医療感染性廃棄物について 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ 病棟ラウンド(ICTラウンド)時の監査内容のフィードバック ・ 感染対策研修会の開催、DVD上映、eラーニング ・ 地域連携カンファレンスの開催(4回/年) 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>医薬品安全講演会・医療安全講習会（全職員対象）：3回</p> <p>○アレルギー情報の取り扱いとアナフィラキシー発生時の対応について（5月，医療安全講習会）</p> <p>○麻薬および救急カートの運用・管理手順について（10月，医療安全講習会）</p> <p>○鎮痛・鎮静に使用する薬剤の特徴と注意点（2月，医薬品安全講演会）</p> <p>その他（対象者限定）：3回</p> <p>○医薬品の危険性について（4月，新入職員対象 & 薬剤師対象）</p> <p>○研修医が間違えやすい処方オーダーについて（4月，研修医対象）</p> <p>e-ラーニング</p> <p>○Safety Plusの「アレルギー既往歴の確認不足」を課題選定して、優先的に視聴するよう促した。（随時，全職員対象）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成（有 無）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>○医薬品の採用・購入</p> <p>○調剤室・病棟における医薬品の管理</p> <p>○病棟・各部門への医薬品の供給</p> <p>○外来・入院患者への医薬品使用</p> <p>○医薬品情報の収集・管理・提供</p> <p>○手術・麻酔部門における医薬品安全使用</p> <p>○救急部門・集中治療部門における医薬品安全使用</p> <p>○輸血・血液管理部門・血液浄化部門における医薬品安全使用</p> <p>○画像診断部門・内視鏡部門・外来化学療法部門・歯科領域における医薬品安全使用</p> <p>○他施設との連携に関する事項</p> <p>○事故発生時の対応</p> <p>○教育・研修</p> <p>○医薬品関連の情報システムの利用</p> <p>○その他</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備（有 無）</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>（申請・承認した件数）</p> <p>○未承認： 1件（Omegaven，魚油由来静脈注射用脂肪製剤）</p> <p>○適応外： 23件</p> <p>○禁忌： 0件</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>（新たに開始・導入した方策）</p> <p>○観血的手技時における抗凝固薬・抗血小板薬の休薬に関するガイドラインに、「ワルファリンの安全使用について」を追加して適正使用の推進を図った。（2019.6～）</p> <p>○院内医療安全情報No.35「冷所保存薬剤の混注忘れについて」注意喚起を行った。（2019.8）</p> <p>○他施設で発生したモルヒネ過量投与事故うけ、発生要因について注意喚起を行った。（2019.12）</p> <p>○「持参薬の取り扱いマニュアル」を厚労省通知に準拠した内容に改訂した。（2020.2～）</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年56回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>○特定医療機器(人工心肺、人工呼吸器、除細動器、閉鎖式保育器、血液浄化装置、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線装置)に関する取扱い説明、インシデント事案を含めた研修</p> <p>○新規購入に伴う取扱い研修実施</p> <p>○新人研修医、看護師に対するシリンジ、輸液ポンプ使用説明実施</p> <p>○特定医療機器の定期研修に関してはe-ラーニングを導入</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>○放射線関連装置は放射線治療部において、その他の特定医療機器については医用工学センターが保守点検計画書を作成し、それに基づき定期点検を実施、点検記録簿を作成している。</p> <p>特定医療機器以外では電気メス、シリンジ、輸液ポンプ、ペースメーカー、麻酔器、逐次型空気圧式マッサージ器も保守点検を実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)：事例なし</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>○当院に設置(使用)や関係しているものは医用工学センター及び医療機器安全管理責任者へ書面にて報告され内容を吟味検討した上で、部署に配置している医療機器安全担当者へ書面やメールで情報発信を行っている。また、医用工学センターHP上で医療機器安全情報もUPしている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師、歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>組織分掌規則に医療安全管理責任者は、「医療安全管理部、医療安全管理対策委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する」と明記している。</p> <p>また、医療安全管理責任者は副病院長ならびに医療安全管理部部長、医療安全管理対策委員会の委員長、薬剤部部長、医薬品安全管理責任者である。一方、医療機器安全管理責任者は医療安全管理対策委員会の委員であり、医療安全管理委員会に業務を報告する。以上のような配置により、医療安全管理責任者は医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (5 名)
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>○1ヶ月毎に薬品別使用量や金額使用量を集計した「院内医薬品使用状況一覧」を作成しており、当院での使用状況を把握している。</p> <p>○医薬品医療機器情報配信サービス (PMDAメディナビ) を利用するなど、国内外の医薬品情報をwebより収集している。</p> <p>○医薬品安全使用に関する情報は、必要に応じて①メール配信および②セーフティマネージャー委員会にて報告している。また、その議事録を職員全員に回覧後、議事録閲覧確認票 (押印票) の回収により周知状況を把握している。</p> <p>○医薬品安全使用に関する情報は、薬剤部 薬品情報科でファイリングして整理しており、過去のメール配信記録は職員がいつでも閲覧できるようホームページ上に整理している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>○調剤時に処方箋を確認し、処方薬剤が適応外又は併用禁忌等の使用方法に該当するか否かを把握している。</p> <p>○上記に該当する場合は薬学的知見に基づき、調剤者および監査者は、提出された文献等を参考に使用の必要性やリスク検討を加え、処方の妥当性を確認している。</p> <p>○適応外または併用禁忌等について疑義照会した場合の照会内容は、処方箋のコピーを記録として綴り、医薬品安全管理責任者に毎月報告し、保管している。</p> <p>○必要に応じて、医師に適応外または併用禁忌等について指導を行うとともに、院内全体に未承認等の医薬品の使用に関して必要な情報共有を行っている。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部、職種：医師1名)</p> <p>(所属：薬剤部、職種：薬剤師3名)</p> <p>(所属：医療安全管理部、職種：薬剤師1名)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する</p>	

<p>規程の作成の有無 (☒ ・ 無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 : インフォームドコンセントマニュアルに説明と同意に関する方針、手順を定めている。説明書や同意書の新規作成、改定文書は全て医療安全管理部門で確認している。実施状況は医療説明等管理責任者が参加している診療録監査小委員会で確認している。インフォームドコンセントに関する職員研修を年間計画に組み込み行っている。</p>

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ ・ 無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>☐ 診療録等の適切な管理を行うために診療録等の記載内容の確認に関すること</p> <p>☐ 診療録等の診療録内容等の定期的な確認に関すること</p> <p>☐ 必要の応じて行う指導に関すること</p> <p>☐ 診療録の記載が十分でない事例などの各部署への通知および研修に関すること</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ ・ 無
<p>・所属職員：専従（ 6 ）名、専任（ ）名、兼任（ 9 ）名 うち医師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 1 ）名 うち薬剤師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 1 ）名 うち看護師：専従（ 1 ）名、専任（ ）名、兼任（ 2 ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>☐ 医療安全管理対策委員会、医療事故対応委員会、セーフティーマネージャー委員会等医療安全部門の各委員会の運営と庶務に関すること。</p> <p>☐ 医療事故や医療安全管理部が取り扱う事象が発生した場合における診療録の記録の確認、患者及び家族への説明、発生原因の究明と対応状況の確認、事象の内容から派生した事項の職員への必要な指導</p> <p>☐ 医療に係る安全管理の連絡調整、医療安全の確保のための対策の推進、医療安全の確保に資する診療状況の把握と職員への安全意識向上の取組みとモニタリング</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（0件）、及び許可件数（0件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
高難度新規医療技術評価委員会に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めること。
当該高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書（様式第2号）により通知すること。
当該高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認すること。
高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうか、従業者の遵守状況の確認を行うこと。
高難度新規医療技術の提供の適否等について決定した時及び高難度規程に定める事項の従業者の遵守状況を確認した時に、その内容について病院長に報告すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（1件）、及び許可件数（1件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：
Omegaven（魚油由来静脈注射用脂肪製剤）の腸管不全合併肝障害患児への使用に関する適否を審査し、

承認した。(2019.7)

○未承認新規医薬品・医療機器等評価委員会に対して当該未承認新規医薬品・医療機器等の適否、使用条件等について意見を求めた。

○当該未承認新規医薬品・医療機器等の使用の適否、使用条件等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知した。

○当該未承認新規医薬品・医療機器等を用いた医療が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に、及び術後に患者が死亡した場合その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認した。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (・ 無) 1件承認したが使用されなかった。

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 656 件

・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 56 件

・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

死亡・死産報告と合併症報告の義務化について医療安全研修を通じて全職員へ入力方法等もふまえて研修を実施している。

電子カルテのトップページに入力についての情報を掲載している。セーフティマネージャー委員会での周知、マンスリーレポートでの周知を実施している。

院内で発生した死亡情報および合併症報告を確認し、インシデントレポート報告がされていない診療科等には報告するよう督促を行うなど活動をしている。

毎月の医療安全管理対策委員会において死亡・死産報告と合併症報告の件数及び事例を報告し、必要に応じ改善策を審議している。審議結果は病院長へ報告している。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・ 他の特定機能病院等への立入り ((病院名：川崎医科大学附属病院・国立循環器病研究センター) ・ 無)

・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ ((病院名：川崎医科大学附属病院・国立循環器病

研究センター)・無)

- ・ 技術的助言の実施状況
- ・ 医療安全管理マニュアルの診療科別項目の内容統一
⇒将来的に統一すべく調整作業を実施しています。
- ・ 電子カルテ更新等のタイミングで、アレルギーチェック機能のバージョンアップ
⇒電子カルテ更新等のタイミングで関係部署と検討いたします。
- ・ 病棟における自部署での特徴的なインシデント・アクシデントの傾向と対策について、現場からの具体的な意見が述べられるとよかった
⇒各部署のセーフティマネージャーに部署インシデント・アクシデントの傾向や対策について報告を求めるなどして、部署活動を活性化するようにします。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況

患者相談窓口の趣旨、設置場所、担当者と責任者、対応時間等は院内に掲示されており、患者窓口運用規程によって定められている。また相談者が不利益を受けないよう配慮し個室にて相談に応じている。相談内容によってはインシデントレポートによる報告が行われ、一部内容は医療安全管理対策委員会にも報告されて、対応を要する事項については委員会にて対策について検討している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・ 研修の実施状況

職種横断的な内容になるよう配慮し、事例等を中心にテーマを決めて年間スケジュールを計画の上実施している。職員間の連携や高度な医療を提供できるように必要な技能や知識を盛り込んだ内容を実施している。

- 説明と同意
- 院内の安全ルール（診療のルール・インシデント報告のルール等）
- チーム STEPPS
- 薬剤アレルギーについて
- インシデント事例の具体的対策
- 事例検討会（報告書見落とし事例の振り返り）
- 特定機能病院のガバナンスに関する改正事項研修会

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1

日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者】

○2019年度特定機能病院管理者研修（2020年1月7日）

【医療機器安全管理責任者】

○2019年度特定機能病院管理者研修（2020年2月12日）

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 心身ともに健全にして人格高潔である医師 2. 医療安全確保のために必要な資質、能力を有している者 3. 病院の管理運営のために必要な資質、能力を有している者 4. 関西医科大学附属病院における病院理念、基本方針、医療倫理指針を理解し、遂行することができる者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 公表の方法 ホームページ
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	☒ 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 公表の方法 ホームページ 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
神崎秀陽	学校法人関西医科大学 常務理事	○	常任理事会から選出された理事	有 ・ ☒ 無
友田幸一	関西医科大学 学長		学長	有 ・ ☒ 無
岡崎和一	関西医科大学附属病院 消化器肝臓内科 診療部長		附属病院部長会から選出された 診療部長	有 ・ ☒ 無
藤本良知	一般社団法人枚方市医師会 会長		理事長が委嘱する学外有識者	有 ・ ☒ 無
川添堯彬	学校法人大阪歯科大学 理事長		理事長が委嘱する学外有識者	有 ・ ☒ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		有・無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 病院の運営方針に関する事 (2) 病院の経営管理に関する事 (3) 中期計画及び事業計画に関する事 (4) 医療機能に関する事 (5) 組織に関する事 (6) 人事に関する事 (7) 施設整備に関する事 (8) 予算及び決算に関する事 (9) 高難度新規医療技術の実施に関する事 (10) 未承認の医薬品等の使用に関する事 (11) 職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制の整備に関する事 (12) その他、病院の運営全般に関する事</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況 毎月1回(毎月第4火曜日午後4時から)開催の附属病院部科長会に報告し了承を得たうえで、職員に周知しています。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無(有・無)</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無(有・無)</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
澤田 敏	○	医師	病院長
松田 公志		医師	副病院長
谷川 昇		医師	副病院長
齋藤 貴徳		医師	副病院長
藤原 宏司		事務	事務部長
島村 里香		看護師	看護部長
村中 達也		薬剤師	薬剤部副部長
仲野 俊成		医師	医療情報部副部長
山本 和彦		事務	医事課長
川江 寛信		事務	医事課長
森本 圭祐		事務	診療情報分析室課長
大西 良和		事務	用度課長
塚本 雄大		事務	管理課長
木村 藍		事務	管理課係長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・）
- ・ 公表の方法
- ・ 規程の主な内容
 - 病院管理者として必要な人事及び予算執行権限について規定している。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - 副病院長：医療安全に関すること
 - 副病院長：用度、広報、診療情報分析に関すること
 - 副病院長：地域連携、栄養管理に関すること
 - 事務部長：経営分析に関すること
 - 看護部長：看護に関すること
 - 薬剤部副部長：薬剤に関すること
 - 医療情報部副部長：医療情報に関すること

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

<看護部長>

- ・ 社団法人日本私立医科大学協会主催の看護部長会議

<薬剤部副部長>

- ・ 社団法人日本私立医科大学協会主催の薬剤部長会議

<医事課長>

- ・ 社団法人日本私立医科大学協会主催の医療事務研究会

<管理課長>

- ・ 社団法人日本私立医科大学協会主催の病院庶務研究会

なお、院内においては月1回経営会議を開催し、各科の診療成績や予算に対する収支状況について情報共有を行っている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況		(有)・無			
<p>・監査委員会の開催状況:年1回</p> <p>・活動の主な内容:</p> <p>(1) 附属病院の医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理対策委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について管理者から報告</p> <p>(2) (1)の報告内容に関して是正措置を講ずる必要があるかどうかの意見収集</p> <p>(3) (1)、(2)の結果公表</p> <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無((有)・無)</p> <p>・委員名簿の公表の有無((有)・無)</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無((有)・無)</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無(有・(無))</p> <p>・公表の方法:</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
藤本 良知	枚方市医師会 名誉会長	○	地域医療に関する 学識経験者	有・(無)	1
森田 眞照	市立ひらかた病 院 顧問		病院機能に関する 学識経験者	有・(無)	1
永井 仁美	富田林保健所 所長		公衆衛生に関する 学識経験者	有・(無)	1
吉野 敬昌	枚方信用金庫 理事長		医療を受ける側 の 代表者	有・(無)	2
谷川 昇	関西医科大学 医学部放射線 科学講座教授		医療に関する 学識経験者	(有)・無	1
蔦 幸治	関西医科大学 臨床病理学講 座教授		臨床病理に 関する学識経験 者	(有)・無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

通常は年4回のテーマを決めた内部監査を行っています。また、内部通報窓口となっているため、管理者の業務に関する通報があれば、対応できる体制になっています。

・ 専門部署の設置の有無(有・無)

・ 内部規程の整備の有無(有・無)

・ 内部規程の公表の有無(有・ 無)

・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 常任理事会で審議した内容を理事会へ報告し、理事会では問題の有無を理事である管理者にも確認し、監督しています。 ・ 会議体の実施状況（ 年7回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒ ・ 無 ）（ 年7回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ ☒ ） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (☒ ・ 無)・ 通報件数 (年0件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (☒ ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (☒ ・ 無)・ 周知の方法 <p>○職員更衣室の前に学内意見箱を設置し、案内を常時掲示しています。</p>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	④・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	
○国際標準化機構 (ISO15189) 平成25年8月15日認定 ※臨床検査部内のみ	
○日本医療機能評価機構認定病院 平成30年4月6日認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
・情報発信の方法、内容等の概要	
【発信方法】 当院ホームページ	
【内容の概要】 医療圏における基幹病院の一つとして最先端医療、高度医療をおこなっており、患者さんが安心できる安全で最新の医療の提供に努め、全ての人に平等で開かれた大学病院としての社会的責務を果たしている。	
また、災害拠点病院・がん診療連携拠点病院・高度救命救急センターの指定を受けており、診療の多様化にも対応し、広く地域医療機関との連携を図り医療圏全体の充実に貢献している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	④・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要	

センター化を推進し、診療科や部門との枠組みを超えてチーム医療を実施している。

○がんセンター：化学療法部門と緩和ケア部門を担当しており、関連する診療科で協力し、より効率的で質の高いがん治療を提供している。

○ハートセンター：循環器内科・心臓血管外科が連携して循環器疾患の治療に当たっている。

○内視鏡センター：消化器肝臓内科、消化管外科、呼吸器内科、呼吸器外科および関連診療科が協力して、消化器及び呼吸器に関連する内視鏡治療を積極的に行っている。

○脳卒中センター：脳神経外科、神経内科、救急医学科、リハビリテーション科及び関連診療科が協力して超急性期に対する最新かつ質の高い脳卒中治療を提供している。

○腎センター：腎臓内科、腎泌尿器外科、糖尿病科の医師以外に健康科学センター、看護師、管理栄養士、薬剤師が連携し、「全人的」な診療や支援を提供している。

○難病センター：各診療科の指定難病登録医、看護師を始めとしたメディカルスタッフ、ソーシャルワーカーなどが協力して難病診療に対応している。